

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルてんじん3号館（放課後等デイサービス）		公表日		R8 年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・活動に応じてエリア分けを工夫してる。 個人用マット等を使用している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・児童の状態を考慮した上で職員に配置を考えている。 ・人事配置基準に基づき適切に行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・出来る限り行っているが、もう少し工夫できそうな気はしている。 ・広い活動フロアと学習スペースが分れており集中できるよう場所を確保している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日の清掃と消毒噴霧器を使用している。 スケジュールをわかりやすく表示している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・パーティションなどを利用し、安心できる空間作りが出来ている。 ・活動フロアと別に部屋があり、必要に応じて応接室が利用ができる。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・朝礼の時間に職員間で情報を共有し業務改善に努めている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		・アンケート結果の確認はできているが改善に繋がっていない為工夫が必要。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・業務時に発覚した改善点はその都度話し合い改善に向けて話し合いができています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・外部の研修、職場内での研修も参加できている。 ・法人内での研修が定期的であり、参加できている。			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・作成、公表されている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・アセスメントを行い、作成している。	・本人のニーズに適しているかをもう少し考える必要がある。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			・共通理解の為の会議を今後検討していく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			・共通理解の為の会議を今後検討していく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・アセスメントツールを使用している。 お迎え時や送迎時の保護者の方からの情報を共有しアセスメントに活用している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			・設定しているが具体性がない為、改善していく必要がある。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・全体で話し合って活動内容を決定している。 ・活動プログラムについて会議をしている。			

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・振り返りをスタッフ間で行い、本人にとってよりよい活動プログラムを考えようとしている。 ・スタッフ間で話し合い日々検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・発達段階に応じた個別、集団活動を考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・朝礼を起こ尾内、活動のシミュレーション、予測される行動などを話し、連携がとれるようにしている。 ・活動の担当決め、それぞれが責任をもって取り組んでいる。 ・毎日の朝礼で支援内容や役割を確認し共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・その日の内にはできないことも多いが、次の日の朝礼等で共有している。 ・終了後に共有できなかった時は朝礼時に振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・モニタリングを行い、適切な内容にできている。	・見直し後のスタッフ全体での周知を工夫する必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2		・地域を散策する活動があるので、今後は交流をもてるような支援も考えていきたい。 ・「地域交流の機会の提供」はできていない ・地域交流の活動について検討する必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・静と動のコーナーを分け、自分で居場所を選べるような空間づくりができています。 おやつも自分で選択出来るようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・保護者の方に学校からのお便りを知らせてもらうようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	・該当者がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		実施できていない為検討を行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・保護者さんへはこまめに様子をお伝えしている。連絡システムの活用。 ・送迎時など、子どもの変化について保護者様にお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		・今後研修等に参加していく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			・支援内容の説明後、同意頂き署名を頂いている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			・相談の場を設けて助言している。 ・助言についてはもっと情報を収集しておかなければならない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			・おたより、HPを利用して周知をしている。 ・周知しているが知らないという保護者の方もいるためさらなる周知の強化を行っていかねばいけぬ。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			・社外持ち出し不可としている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・マニュアルが家族へ周知されていない為、検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			・法人内での研修が行われている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			・てんかん発作時の対応について保護者の方に確認している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			・契約時に確認しスタッフ間で共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			・日々点検を行い、安全配慮している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			・事業所内、法人内での委員会で共有・検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			・虐待防止委員会を設置し、定期的な話し合いや全体での研修を行っている。 ・法人内で委員会があり、定期的に研修が行われている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			・身体拘束適正化委員会が定期的に開催されている。計画に記載している。